



News Release

2026 年 10 月 23 日

日本製鉄株式会社

US スチールがモンバレー製鉄所における 30 億ドルの新熱延設備投資を決定

～エドガー・トムソン地区の競争力強化と地域経済の発展に貢献～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）の完全子会社である United States Steel Corporation（以下、US スチール）は、ペンシルバニア州モンバレー製鉄所エドガー・トムソン地区に、新たな熱延設備を建設することを決定しました。本投資は、日本製鉄がコミットしている 110 億ドルの投資計画の具体化のひとつであり、設備投資額は約 30 億ドルとなります。

本投資により、老朽化した既存設備を新鋭設備へ更新し、年間生産能力を現在の約 220 万トンから約 350 万トンへ拡大します。これにより、自動車、家電、エネルギー分野をはじめとする幅広い需要に対応できる製品供給体制を構築します。加えて、ウォーキングビーム加熱炉、サイジングプレスなどの導入により、生産性向上、省エネルギー化、歩留まり改善および品質の安定化を実現し、お客様への高品質な鋼材の安定供給に貢献します。必要な許認可取得後に建設を開始し、2029 年後半の稼働開始を予定しています。

日本製鉄は、US スチールを北米戦略における中核拠点と位置付けており、本投資を通じて競争力強化を図るとともに、お客様への高品質な製品・サービスの提供、地域雇用の維持・創出等を通じて、米国鉄鋼産業および地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

詳細につきましては、US スチールのプレスリリースをご覧ください。

<https://www.ussteel.com/media/newsroom/-/blogs/u-s-steel-board-authorizes-nearly-3-billion-investment-in-new-hot-strip-mill-at-mon-valley-works>

以 上

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>